

国内有数の平和活動団体が一堂に集結

「第1回 PEACEシンポジウム2026」開催 市民・NPO・企業がつながる平和共創プラットフォームが始動

2026年6月21日、認定NPO法人PEACE DAY（代表理事：井上高志）は、品川女子学院講堂（東京都品川区）にて「第1回 PEACEシンポジウム2026」を開催しました。

戦後80年以上が経過した現在も、世界各地では紛争や対立が続き、難民・避難民の数は過去最多を更新しています。一方で、日本国内にも平和の実現に向けて日々活動するNPO・NGO、教育機関、企業、財団、市民団体など、多様な担い手が存在しています。しかし、それぞれの活動領域が異なることから、互いの取り組みを知り、学び合い、連携する機会は決して多くありません。

こうした課題意識のもと開催された本シンポジウムには、平和構築、人道支援、国際協力、平和教育、難民支援、フェアトレード、被災地支援、地域づくり、若者育成など、多様な分野で活動する団体・個人・企業関係者が集いました。

平和という共通のテーマのもと、これほど多様な主体が一堂に会し、それぞれの実践や課題、そして未来への展望を共有する機会は極めて稀です。本シンポジウムは、分野や立場を超えて学び合い、協働する場となるとともに、日本における平和セクターの横断的なネットワーク形成に向けた新たな第一歩となりました。

「平和を願う」から「平和をつくる」へ

シンポジウム冒頭では、認定NPO法人PEACE DAY代表理事であり、株式会社LIFULL創業者の井上高志が基調講演を行いました。井上は、「平和はもはや理念や理想ではなく、経済や社会の持続可能性を左右する重要な課題である」と提起。また、従来ESG（Environment・Social・Governance）に「Peace」を加えた「ESGP」という考え方や、「平和資本（Peace Capital）」という新たな概念を紹介し、市民社会と経済界が連携して平和を社会に実装していく必要性を訴えました。

さらに、

- ・PEACEイニシアチブ
- ・PEACEファンド
- ・市民100万人署名プラットフォーム

など、平和活動を支える新たな仕組みづくりに向けた構想も共有されました。



【当日のステージの写真】



【井上高志代表理事 講演】

多様な平和活動の最前線が集結

シンポジウムでは、国内外で活動する平和関連団体によるピッチリレーを実施しました。公益財団法人五井平和財団からは、若者たちが国境や文化を越えて交流する平和教育プログラムや、未来世代のリーダー育成について紹介されました。NPO法人Piece of Syriaからは、長期化するシリア危機の現状と教育支援の取り組みについて報告がありました。戦争によって失われた学びの機会を取り戻し、次世代へ希望をつなぐ活動に、多くの参加者が耳を傾けました。認定NPO法人テラ・ルネッサンスからは、アフリカやアジアを中心に取り組む元子ども兵の社会復帰支援や地雷・不発弾問題への対応、人道支援活動について紹介されました。「すべての生命が安心して生活できる社会の実現」を目指す活動は、平和とは単なる戦争のない状態ではなく、一人ひとりの尊厳が守られる社会であることを改めて参加者に問いかけました。国際NGOピースボートからは、市民による国際交流や対話を通じた平和構築、核兵器廃絶に向けた取り組みなどが紹介されました。国境や立場を越えて人と人とが出会い、相互理解を深めることの重要性が共有されました。REALsからは、ガザをはじめとする紛争地域の子どもたちへの心のケアや、若者が主体となって平和を実践する活動について紹介されました。平和を遠い世界の出来事としてではなく、自分たちの行動によって支えることができるというメッセージは、多くの共感を呼びました。また、認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちねからは、福島第一原発事故後、市民自らが放射能測定や健康支援に取り組んできた活動が紹介されました。「命と暮らしを守ることも平和の重要な実践である」という視点は、多くの参加者に新たな気づきを与えました。そのほかにも、国際平和映像祭による映像を通じた平和教育、フェアトレードを通じた持続可能な社会づくりなど、多様な分野の実践が共有されました。平和という言葉は一つであっても、そのアプローチは教育、国際協力、人道支援、共生、多様性、文化、地域づくり、経済活動など多岐にわたります。本シンポジウムは、それぞれの活動が互いにつながり合うことで、より大きな平和の力となる可能性を示す機会となりました。



【ピッチリレー／ブース交流の様子】

ピッチリレー参加団体

公益財団法人 五井平和財団 / NPO法人 Piece of Syria / 特定非営利活動法人 いわき放射能市民測定室 / 特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan) / 特定非営利活動法人 CWS Japan / 特定非営利活動法人 パルシック / 特定非営利活動法人 ジェン (JEN) / 認定NPO法人 日本国際ボランティアセンター (JVC) / 一般社団法人 アースデイジャパンネットワーク / 一般社団法人 国際平和映像祭 / 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン / 公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 / ICAN (核兵器廃絶国際キャンペーン) / ドイツ国際平和村 FRIEDENSDORF INTERNATIONAL / 認定NPO法人 テラ・ルネッサンス / 一般社団法人 アースデイ東京 / 東北アジア地域平和構築インスティテュート (NARPI) / 一般社団法人 核兵器をなくす日本キャンペーン / NPO法人 ボーダレスファウンデーション / 認定特定非営利活動法人 Reach Alternatives / 『稲森アートプロジェクトグループ』 / 一般社団法人 日本文化伝承協会 / 一般社団法人 日本跡取り娘共育協会 / 国際交流NGO ピースポート / 株式会社IDEAR

対話から生まれた新たなつながり

会場では、発表だけでなく、参加団体同士や来場者との交流も活発に行われました。

参加者からは、

「知らなかった活動をたくさん知ることができた。知ることが力になると実感した」

「一人ではできないことも、つながりの力で実現できることを感じた」

「平和活動を具体的な行動につなげるヒントを得ることができた」

「平和への解像度が大きく上がった」

「異なる分野の活動がつながることで、新しい可能性が生まれると感じた」

といった声が寄せられました。

また、

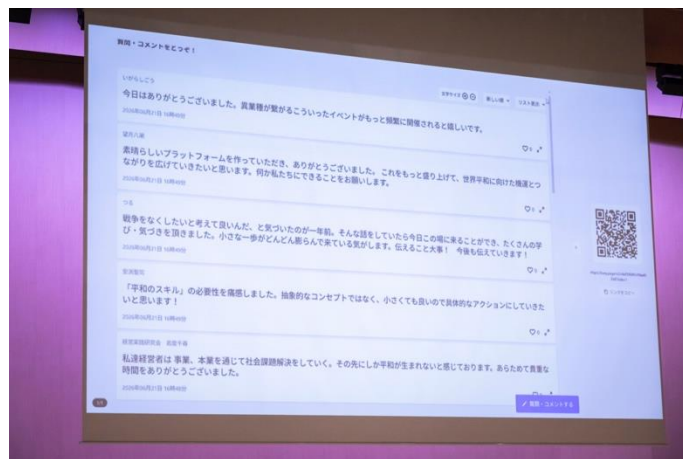
「今日この場で出会ったご縁から、新たな平和プロジェクトの実施が決まった」

という報告もあり、本シンポジウムが単なる情報共有の場ではなく、新たな協働を生み出す共創の場として機能したことがうかがえました。

俳優・タレントのサヘル・ローズ氏もMCとして参加し、登壇者一人ひとりの活動に真摯に耳を傾けながら対話を重ね、会場全体を温かな雰囲気で見守りました。



【俳優・タレントのサヘル・ローズ氏】



【参加者の声】

平和活動をつなぎ、広げるプラットフォームへ

PEACE DAYでは、今回のシンポジウムを単発のイベントではなく、継続的な平和コミュニティ形成の出発点と位置付けています。

平和は、一部の専門家や活動家だけが担うものではありません。

教育、文化、地域づくり、人道支援、経済活動など、それぞれの立場から平和に関わる人々がつながり、学び合い、協力し合うことで、その輪はさらに大きな力となります。

今後もPEACE DAYは、市民・NPO・NGO・企業・財団・自治体・教育機関など、多様な主体をつなぐプラットフォームとして、「平和を願う人」を増やすだけでなく、「平和をつくる人」を増やしていくための活動を推進してまいります。

認定NPO法人PEACE DAYについて

認定NPO法人PEACE DAYは、国連が定める9月21日の「国際平和デー（International Day of Peace）」の普及と、平和を実現する人と人とのつながりを育むことを目的に活動しています。

「平和を願うだけでなく、平和をつくる人を増やす」をミッションに掲げ、市民・企業・行政・教育機関・NPOなどをつなぐプラットフォームとして、イベント開催、教育活動、情報発信、ネットワーク形成などを行っています。

【お問い合わせ先】

認定NPO法人PEACE DAY（担当：日野原、中島）

TEL：03-6427-1085 E-mail：info@peaceday.jp

URL：https://peaceday.jp

